

**日本家庭科教育学会**  
**第53回大会プログラム**

2010年7月3日(土)～7月4日(日)

**会場：京都テルサ**

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町 70  
TEL 075-692-3400 FAX 075-692-3402

大会事務局：赤松純子（大会実行委員長）  
〒640-8510 和歌山市栄谷 930 和歌山大学 教育学部  
TEL 073-457-7530 FAX 073-457-7538  
E-mail: akamatsu@center.wakayama-u.ac.jp

日 程

7月2日(金) 13:30～15:30 理事会 (3-B)  
17:00～19:00 地区会代表者会議 (3-B)

7月3日(土)					7月4日(日)					
9:00～	受付 (データインストール・3日分：各発表会場にて)				9:00～	受付 (データインストール・4日分：各発表会場にて)				
9:30 ～11:50	口頭研究発表				9:30 ～11:50	口頭研究発表				
	第1会場	第2会場	第4会場	第5会場		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
	3-J・K	2-B	2-D	2-E		3-J・K	2-B	2-C	2-D	2-E
11:50 ～12:35	昼食 (データインストール・4日分：第1会場にて)				11:50 ～13:10	昼食				
12:35 ～13:05	ポスタープレゼンテーション 奇数ポスター(西館2階ギャラリースペース)				13:10 ～13:40	ポスタープレゼンテーション 偶数ポスター(西館2階ギャラリースペース)				
13:10 ～14:15	総会 東館3階 大会議室				13:45 ～16:00	課題研究報告『提案！今、家庭科だからできること』				
14:20 ～16:50	講演・シンポジウム 東館3階 大会議室									
18:00 ～20:00	懇親会 (京都センチュリーホテル)									

## 研 究 発 表

### 【口頭発表】（発表番号のAは第1日目、Bは第2日目）

【7月3日】第1会場（3-J.K）

【午前9：30～10：30】

座長 赤崎 眞弓

- |      |  |   |                             |
|------|--|---|-----------------------------|
| A1-1 | 高等学校における栄養バランスの良い食事に関する指導方法の比較<br>～栄養素・食品・料理・食事のつながりの理解を求めて～ | 東京都立忍岡高等学校                                      | 佐藤 真紀子                      |
| A1-2 | 高等学校家庭科における食生活観の醸成 - 食生活と社会とのかかわりを考慮して -                     | 横浜国立大学教育学研究科（院生）<br>東京都立忍岡高等学校<br>横浜国立大学教育人間科学部 | ○梅田 有希子<br>佐藤 真紀子<br>金子 佳代子 |
| A1-3 | 中・高校生の食情報に関する実態と家庭科における課題<br>ボディ・イメージとダイエットへの関心              | 聖徳大学人間栄養学部                                      | ○河野 公子<br>神田 由紀             |

【午前10：30～11：30】

座長 佐々木 貴子

- |      |   |   |   |
|------|---|---|---|
| A1-4 | 英国におけるクッキングバスを活用した食育の推進                 | 奈良教育大学教育学部  | 鈴木 洋子                                   |
| A1-5 | 調理実習における自己評価表の開発<br>—自己学習力を高めるFBシートの開発— | 福岡県立稲築志耕館高等学校<br>福岡県立東鷹高等学校<br>福岡県立八幡中央高等学校<br>福岡県立北筑高等学校 | ○林田 秩子<br>筒井 佐和子<br>加藤（植山） 敦子<br>平野 いずみ |
| A1-6 | 家庭科を中核とする食育プログラムの開発<br>米飯とみそ汁の学習を中心にして  | 佐倉市立南志津小学校<br>千葉大学  | ○児玉 喜久子<br>石井 克枝                        |

【7月3日】第2会場（2-B）

【午前9：30～10：30】

座長 上里 京子

- |      |  |  |   |
|------|--|--|---|
| A2-1 | 「幼児への関わり方」を学ぶ授業実践<br>中学生のふれ合い体験ビデオ視聴から | 埼玉県さいたま市立本太中学校<br>東京学芸大学教育学部附属竹早中学<br>東京学芸大学教育学部<br>香川大学教育学部<br>秋田大学教育文化学部<br>東京都調布市立第一小学校 | ○金子 京子<br>阿部 睦子<br>倉持 清美<br>妹尾 理子<br>望月 一枝<br>西岡 里奈 |
|------|--|--|---|

A2-2 家族的価値を問い直す教材開発の試み  
同性カップルの「家族」を描いた絵本を例に  
横浜国立大学教育人間科学部  
堀内 かおる

A2-3 家庭科教育の逆機能～ひとり親家族を生きる子ども達の会話分析から～  
和歌山大学  
本村 めぐみ

【午前10:30～11:50】

座長 望月 一枝

A2-4 公認されない悲嘆へのケア  
大学生の人工妊娠中絶について  
上越教育大学  
○得丸 定子

A2-5 「教育カルタ」の教材としての汎用性  
—大学生と中学生のジェンダー意識の分析—  
東京家政大学短期大学部  
青木 幸子

A2-6 小学校家庭科におけるロールプレイングを用いた授業が児童の自尊感情に与える影響  
福山市立女子短期大学  
広島大学付属三原小学校  
広島大学大学院教育学研究科  
○正保 正恵  
林原 慎  
伊藤 圭子

A2-7 日常生活を可視化する小学校家庭科の授業開発  
—家族の仕事と自分の役割に着目して—  
横浜市新吉田小学校  
横浜国立大学  
○本庄 則子  
堀内 かおる

【7月3日】 第4会場 (2-D)

【午前9:30～10:30】

座長 菊地 るみ子

A4-1 高校家庭科における「生活費教育」が経済的自立意識に与える影響  
東京学芸大学大学院連合教育学研究科 (院生)  
東京学芸大学教育学部  
○鎌田 美穂  
大竹 美登利

A4-2 高校生の生活設計への積極的態度に影響を及ぼす要因  
千葉県立流山南高等学校  
千葉大学教育学部  
○仲田 郁子  
久保 桂子

A4-3 高校生の金銭管理の実態  
～費目に着目したワークシートを通して～  
東京都立芦花高等学校 (非常勤)  
女子栄養大学非常勤講師  
女子栄養大学  
○小守 友里恵  
山田 忍  
仙波 圭子

【午前10:30～11:50】

座長 吉本 敏子

A4-4 生活資源から「セーフティネット」を考える授業開発  
東葉高校  
千葉大学  
○若月 温美  
中山 節子

		法政大学高等学校 愛媛大学 田園調布雙葉中・高等学校 神奈川県立麻生総合高校 都立大江戸高校	富田 道子 藤田 昌子 中野 葉子 松岡 依里子 坪内 恭子
A4-5	働き方によるセーフティネット格差を考える授業開発	神奈川県立麻生総合高校 都立大江戸高校 愛媛大学 千葉大学 東葉高校 法政大学高等学校 田園調布雙葉中・高等学校	○松岡 依里子 坪内 恭子 藤田 昌子 中山 節子 若月 温美 富田 道子 中野 葉子
A4-6	家庭科における消費者市民教育の意義	東京家政学院大学現代生活学部(非)	神山 久美
A4-7	大学生における小・中・高等学校家庭科の学習実態と家庭科に対する意識	鹿児島大学教育学部	黒光 貴峰

【7月3日】 第5会場 (2-E)

【午前9:30~10:50】

座長 長山 芳子

A5-1	小学校家庭科衣生活領域ミシンの扱い方を学ぶ学習における教育用デジタルコンテンツの利用に関する研究	東京学芸大学教育学研究科(院生) 東京学芸大学教育学部	○安部 暖 大竹 美登利
A5-2	小学校家庭科の巾着袋製作学習における自己評価活動の認知過程分析	広島大学大学院教育学研究科	○一色 玲子 鈴木 明子
A5-3	資源の大切さに気づかせることをねらいとした教材開発と授業の展開 —衣生活における不要な布を使ったスリッパ作りの授業実践—		大西 友恵
A5-4	被服製作に関する帰国生の知識と技能の実態	高等工科大学 東京学芸大学	○山崎 真澄 池崎 喜美恵

【午前10:50~11:50】

座長 森田 みゆき

A5-5	地域の自然素材を生かした染色教材の開発 環境教育的視点から	茨城大学	木村 美智子
------	----------------------------------	------	--------

A5-6	地域の伝統産業と連携した家庭科教育プログラムの開発 ー甲斐絹の伝承と発信をめざした産官学プロジェクトの一環としてー	山梨大学 教育人間科学部 山梨県立大学 人間福祉学部	○志村 結美 齊藤 秀子
------	--	-------------------------------	-----------------

A5-7	家庭科教育専門教科の服飾文化における伝統色彩に関する一提案 香取神宮の御田植祭の事例調査を中心に	愛国学園大学	早川 礎子
------	---	--------	-------

【7月4日】 第1会場 (3-J.K)

【午前9：30～10：30】

座長 山本 奈美

B1-1	栄養の認識を深める学習の工夫 「おいしさ」を中心におき、他教科と関連させて	千葉大学教育学部附属小学校 千葉大学教育学部	○佐藤 雅子 石井 克枝
------	--	---------------------------	-----------------

B1-2	トランスセオレティカル・モデルに基づいた栄養教育プログラム「La Cocina Saludable」に関する研究	広島大学大学院教育学研究科 (研究生)	柴 英里
------	--	---------------------	------

B1-3	食品添加物に対する消費者の認知構造分析	株式会社アミタ持続可能経済研究所 *1 近畿大学 *2 上野製薬株式会社*3	○大南 絢一 *1 大石 太郎 *1 有路 昌彦 *2 高原 淳志 *1 北山 雅也 *3 本多 純哉 *3 荒井 祥 *3
------	---------------------	--	--

【午前10：30～11：50】

座長 増淵 哲子

B1-4	食育実践事例の特徴 文部科学省委託事業の実践事例の分析から	埼玉大学教育学部	河村 美穂
------	----------------------------------	----------	-------

B1-5	家庭科領域における高大連携教育の開発と今後の方向性 京都高大連携実践共同教育プログラムを通して	京都府立城陽高等学校 兵庫教育大学	○高取 逸子 増澤 康男
------	--	----------------------	-----------------

B1-6	家庭科教育における言語活動の追究	埼玉県戸田市立笹目中学校 植草学園大学	齋藤 和可子
------	------------------	------------------------	--------

B1-7	高等学校家庭科における「食文化」の単元構想とその評価 日韓食文化 比較を教材として	兵庫県立尼崎高等学校	武岡 幸子
------	--	------------	-------

【7月4日】 第2会場 (2-B)

【午前9:30~10:30】

座長 伊藤 圭子

B2-1	高校教育改革を背景とした教育課程 における家庭科の変化 —神奈川県立高校の場合—	横浜国立大学教育人間科学部 上越教育大学大学院学校教育研究科 秋田大学教育文化学部 東京都立本所高等学校 私立 正則高等学校	○鈴木 敏子 佐藤 ゆかり 小高 さほみ 石引 公美 鈴木 博美
B2-2	東京都内私立高校における家庭科の 現状	私立正則高校 秋田大学教育文化学部 上越教育大学大学院学校教育研究科 横浜国立大学教育人間科学部 東京都立本所高等学校	○鈴木 博美 小高 さほみ 佐藤 ゆかり 鈴木 敏子 石引 公美
B2-3	新潟県内私立高校における家庭科の 現状	上越教育大学大学院学校教育研究科 秋田大学教育文化学部 横浜国立大学教育人間科学部 私立 正則高等学校 東京都立本所高等学校	○佐藤 ゆかり 小高 さほみ 鈴木 敏子 鈴木 博美 石引 公美

【午前10:30~11:30】

座長 青木 香保里

B2-4	高校家庭科の単位減をめぐる現状・課 題	愛媛大学教育学部 福井大学教育地域科学部 北海道教育大学 國學院大學栃木短期大学家政学科 北海道教育大学旭川校 千葉大学教育学部附属教育実践総合 センター (非) 鹿児島大学教育学部 神奈川県立横浜修悠館高校 大阪教育大学教育学部 岩手大学 教育学部 佐賀大学文化教育学部 金沢大学学校教育学類	○野中 美津枝 荒井 紀子 鎌田 浩子 亀井 佑子 川邊 淳子 川村 めぐみ 齋藤 美保子 新山 みつ枝 鈴木 真由子 長澤 由喜子 中西 雪夫 綿引 伴子
B2-5	家庭科教員養成において授業を分析 的に見る方法の検討	新潟大学	高木 幸子
B2-6	家庭科教育実習における実習生の実 態と意識	福岡教育大学教育学部 佐賀大学文化教育学部 大分大学教育福祉科学部 九州女子短期大学初等教育科 長崎大学教育学部 熊本大学教育学部 九州女子大学人間科学部	○貴志 倫子 中西 雪夫 財津 庸子 柳 昌子 赤崎 眞弓 宮瀬 美津子 小林 久美

宮崎大学教育文化学部  
福岡教育大学教育学部

福原 美江  
長山 芳子

【7月4日】 第3会場 (2-C)

【午前9:30~10:50】

座長 福井 典代

- |      |   |  |   |
|------|---|--|---|
| B3-1 | 家庭科住まい学習における環境教育                                | 香川大学教育学部   | ○妹尾 理子<br>井口 真由美                                      |
| B3-2 | 住まいを基本舞台として家庭生活を総合的に考える                         | 奈良県立磯城野高等学校<br>甲南女子中高等学校<br>兵庫県立村岡高等学校<br>大阪府立豊中支援学校<br>大阪教育大学<br>滋賀大学 | 川合 みちる<br>○龍野 征代<br>仲島 尚子<br>平野 道子<br>大本 久美子<br>矢野 由起 |
| B3-3 | 住まいを基本舞台として家庭生活を総合的に考えた小学校家庭科の授業—日光をテーマにした授業実践— | 奈良教育大学附属小学校<br>奈良教育大学附属小学校<br>奈良教育大学附属小学校<br>奈良教育大学教育学部<br>武庫川女子大学文学部  | ○田中 志穂<br>阪口 美香<br>谷口 明子<br>鈴木 洋子<br>田中 洋子            |
| B3-4 | 3D ソフトの活用による住居領域の指導について                         | 元女子栄養大学  | 尾崎 沙和子  |

【7月4日】 第4会場 (2-D)

【午前9:30~10:30】

座長 倉持 清美

- |      |  |                          |                 |
|------|--|--------------------------|-----------------|
| B4-1 | 他者に応答するシティズンシップ教育<br>「家族」の家庭科授業構想          | 秋田大学教育文化学部               | 望月 一枝           |
| B4-2 | 高校生の社会参画意識と、その関連要因の検討について                  | 千葉大学教育学部                 | 石島 恵美子          |
| B4-3 | 世代間交流の実践及び評価手法に関する検討<br>主観的指標と客観的指標の総合評価から | 兵庫教育大学 大学院<br>上越教育大学 大学院 | ○名嘉 一幾<br>得丸 定子 |

【午前10:30～11:50】

座長 永田 智子

- |      |   |                                      |   |
|------|---|--------------------------------------|---|
| B4-4 | 家族支援から見た小児在宅医療における家庭科教員の果たす役割について                     | おやま城北クリニック                           | 吉野 真弓   |
| B4-5 | 小学校家庭科の「くらし方のくふう」の学習を通して<br>—友人との交流が学習活動に与える影響—       | 信州大学 教育学部                            | 小泉 万里子<br>○三野 たまき   |
| B4-6 | 生涯を展望して生活をよりよくしようとする生徒の育成<br>中学校家庭科におけるアクティブ・エイジングの学習 | 福島大学人間発達文化学類                         | 角間 陽子   |
| B4-7 | 高等学校家庭科「介護保険制度と高齢者のQOL」の授業実践における授業評価                  | 藤女子大学 *1<br>神奈川工科大学 *2<br>藤女子大学（非）*3 | ○水上 香苗 *3<br>楠木 伊津美 *2<br>岡崎 由佳子 *1<br>田中 宏美 *1<br>飯村 しのぶ *1<br>高橋 カツ子 *1<br>坪田 由香子*1 |

【7月4日】 第5会場 (2-E)

【午前9:30～10:50】

座長 滝山 桂子

- |      |   |  |                                   |
|------|---|--|-----------------------------------|
| B5-1 | エレン・リチャーズの『ユーセニクス』（第2章から第4章）にみる家庭科の今日的意義                          | 西南学院大学人間科学部  | ○西野 祥子<br>住田 和子                   |
| B5-2 | 占領下日本におけるアメリカ家庭科教育情報の受容について                                       | 広島大学大学院教育学研究科  | 柴 静子                              |
| B5-3 | 小学校における「人間関係」教育と教科「家庭科」の役割<br>「人間関係」を内容とした家庭科の授業開発を通して            | 岡山県吉備中央町立大和小学校<br>岡山県岡山市立西小学校<br>岡山大学教育学部<br>岡山大学大学院教育学研究科 | ○信清 亜希子<br>西谷 圭二<br>蓮井 有香<br>佐藤 園 |
| B5-4 | 小学校低・中学年における家庭科学習「何を食べているのか?」の実践と評価<br>小学校低学年からの教科としての家庭科学習の実証的検討 | 岡山県吉備中央町立大和小学校<br>岡山県岡山市立西小学校<br>岡山大学大学院教育学研究科             | 信清 亜希子<br>○西谷 圭二<br>佐藤 園          |



【午前10:50～11:50】

座長 山岸 雅子

- |      |   |   |                         |
|------|---|---|-------------------------|
| B5-5 | 中学校家庭科における「自分と被服との関係性の探求」を目的とした衣生活学習の試み | 大阪市立新巽中学校<br>岡山市立中道中学校<br>岡山大学大学院教育学研究科 | ○原田 省吾<br>小橋 和子<br>佐藤 園 |
| B5-6 | 高等学校「家庭基礎」におけるホームプロジェクトの分析              | 鳴門教育大学                                  | 速水 多佳子                  |
| B5-7 | 高等学校「家庭基礎」におけるホームプロジェクト指導法に関する研究        | 福岡県立八幡中央高等学校                            | 加藤(植山) 敦子               |

### 【ポスター発表】西館2階ギャラリースペース

掲示は7月3日9:30～7月4日13:40

プレゼンテーションは、奇数番号【7月3日】12:35～13:05

偶数番号【7月4日】13:10～13:40

- |    |   |  |  |
|----|---|--|--|
| P1 | 実習による高校生の調理技術の変容認識と家庭での実践               | 東京都立駒場高等学校<br>筑波大学附属坂戸高等学校<br>女子栄養大学   | 加藤 慶子<br>田中 友紀子<br>○仙波 圭子                              |
| P2 | 学校の食卓<br>ー特別支援学校におけるランチルームー             | 和歌山大学教育学部  | 梅原 清子  |
| P3 | 中学生の被服製作用語の知識や技能の定着の変容<br>2年前の知識や技能との比較 | 弘前大学教育学部   | 日景 弥生  |
| P4 | 衣生活教育における生命・健康に関わる指導内容に関する一考察           | 信州大学教育学部   | 福田 典子  |
| P5 | 小学校5年生の玉結び・玉どめ技能の実態                     | 神戸市立真陽小学校<br>兵庫教育大学大学院 学校教育研究科   | 野間 夏美<br>○永田 智子  |
| P6 | 浴衣の着装を題材とした中学校技術・家庭科での授業実践              | 横浜国立大学教育人間科学部<br>埼玉大学教育学部<br>横浜国立大学教育人間科学部<br>茨城キリスト教大学生生活科学部<br>山梨県立大学人間福祉学部<br>大妻女子大学短期大学部 | ○薩本 弥生<br>川端 博子<br>堀内 かおる<br>扇澤 美千子<br>斉藤 秀子<br>呑山 委佐子 |

P7	吸湿性に関する基礎的研究とその教材化	鳴門教育大学	福井 典代
P8	玉ねぎ外皮の繰り返し抽出が染色布の色相へ及ぼす影響	北海道北見緑陵高等学校 藤女子大学 北海道教育大学	○駒津 順子 小松 恵美子 森田 みゆき
P9	男子校中・高校生は父・母親役割をどのように捉えているか 共学校との比較検討	千葉大学教育学部 東京学芸大学教育学部 横浜国立大学教育人間科学部	○伊藤 葉子 倉持 清美 堀内 かおる
P10	「家庭基礎」における保育領域のカリキュラム研究 :家庭科教員と乳幼児の保護者へのアンケート調査を通して	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科	○牛房 貴代 永田 智子
P11	多重債務の内容を取り入れた消費者教育のプログラムの開発		○長谷川 真弓 加藤 佐千子
P12	消費文化の影響をふまえた家庭科教育の課題 中学生のゲーム経験に焦点をあてて	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 大阪教育大学	○奥谷 めぐみ 鈴木 真由子
P13	高等学校家庭科における家族分野の学習方法の検討 「家族シミュレーションゲーム」による体験的学習を通して	大分大学教育学研究科 (院生) 大分大学教育福祉科学部	○風岡 百穂 財津 庸子
P14	小学校教員養成における家庭科教育の現状と課題	樟蔭東女子短期大学	吉井 美奈子
P15	アサーション行動と家族関係およびハーディネスとの関連	九州女子大学 山口大学 九州女子大学	○加藤 佳子 西 敦子 伊藤 海織
P16	住居学習における「空間の生命化」の教材化 小・中・高における授業実践	千葉大学教育学部附属小学校 千葉大学教育学部附属中学校 千葉県立千葉東高等学校 千葉大学教育学部 千葉大学教育学部	○古重 奈央 鎌野 育代 真田 知恵子 伊藤 葉子 中山 節子
P17	中学校技術・家庭における環境に着目した住生活領域教材の提案	京都教育大学大学院 京都教育大学	○畑 和孝 榊原 典子

## <理事会・実行委員会合同企画>

### ● 講演・シンポジウム

【7月3日（土）14：20～16：50 京都テルサ 東館3階 大会議室】

テーマ：『活用型学力』をはぐくむ家庭科の実践と評価

趣旨：

家庭科では、従来、知識と技能技術の習得を通して学んだことを生活に生かす学習を展開してきた。新学習指導要領においては、全教科にわたり「活用型学力」が求められている。家庭科教育を通して育成する活用型学力とはどのようなことなのか、またそれは、どのような実践を通して可能なのだろうか。本講演会・シンポジウムにおいては、実践と評価の両面から、家庭科における活用型学力について再考する場としたい。

基調講演：現代の子どもの生活環境の変化と学力の関係を考える

—家庭科における「活用型の学力」の意味・意義と関わって—

小柳 和喜雄（おやなぎ わきお）

（奈良教育大学大学院 教育学研究科（専門職学位課程）教授）

シンポジウムパネリスト：忽那 啓子（能勢町立東中学校 家庭科教諭）

竝川 幸子（京都府立洛北高等学校 家庭科教諭）

永田 智子（兵庫教育大学大学院学校教育研究科 准教授）

コーディネーター：野田 文子（大阪教育大学教育学部 教授）

コメンテーター：小柳 和喜雄

## ＜理事会企画＞

### ●「課題研究」報告－『提案！今、家庭科だからできること』－

【7月4日（日）13：45～16：00】

現在学会では、学会として取り組むべき研究に共同して取り組む「課題研究」を重要な柱にすえております。以下の4テーマを設定し8つの研究グループで、2008年12月以降研究活動を行ってきました。各グループの研究成果をもとに、家庭科だからできること、家庭科から発信できることなどを、参加者の皆さんとともに考えていきます。

なお、ポスターでも研究成果を発表いたします（両日掲示）。報告時間が短いため、ポスターで研究成果をご理解いただいてから報告会にご参加いただければ幸いです。また、受付とポスター会場で質問用紙を配布し、回収箱にて回収します（1日目のみ）。お寄せいただいたご質問・ご意見の一部を報告会で取り上げる予定です。

#### 研究テーマ・報告者

##### テーマ1 食をめぐる課題と家庭科教育の可能性

###### 1-1 食に関する教育－行動の変容を目指した授業の検討－

藤田智子（大妻女子大学(非)）

###### 1-2 小・中・高等学校における調理実習の実態と課題 河野公子（聖徳大学）

##### テーマ2 地域の生活に根ざす家庭科

日景弥生（弘前大学）・渡瀬典子（岩手大学）

##### テーマ3 多様化する高等学校における家庭科教育の意義と課題

###### 3-1 家庭科の単位数をめぐる現状・課題と展望 荒井紀子（福井大学）

###### 3-2 家庭科の普通教育と専門学科の変動と課題 小高さほみ（秋田大学）

###### 3-3 現代の労働、社会福祉の諸課題に対応したカリキュラム構築－生活経営領域を中心に－ 藤田昌子（愛媛大学）

##### テーマ4 中学校家庭科教員実態調査・中間報告(理事企画) 高木直（山形大学）

コーディネーター：桑畑美沙子（熊本学園大学（非））・志村結美（山梨大学）

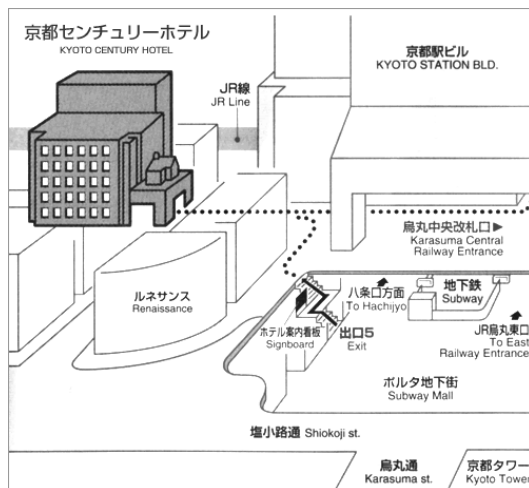
## 第 53 回大会 懇親会のご案内

日時 7月3日(土) 18:00 ~ 20:00  
会場 京都センチュリーホテル  
(<http://www.kyoto-centuryhotel.co.jp/access.html>)  
会費 6,500 円

当日は、衣紋道高倉流で着装されている東帯と十二単の「お服上げ(着付け)」もお楽しみください。  
ショー形式による衣装解説を予定しています。  
皆様のご参加をお待ちしております。

### ● 懇親会会場：京都センチュリーホテルまでのアクセス

- 〒600-8216 京都市下京区東洞院通塩小路下ル東塩小路町 680 tel : 075-351-0111
- JR 京都駅烏丸中央改札口から、東へ徒歩 2 分。
- 地下 (JR 烏丸東口・八条口連絡道路・地下鉄京都駅) より"出口 5"をご利用ください。



● 保育室について（ニュースレターNo.16でお知らせした内容から変更があります。）

大会中、会場内で京都テルサ保育ルームが利用できます。利用に際しては、以下をご参照いただき、諸事項ご承諾の上、事前にお申し込みいただきますようお願いいたします。

対象：生後6か月以上から就学前のお子様を対象とします。

期間：7月3日（土）9：00－17：00、7月4日（日）9：00－16：00

保育者：京都テルサ保育ルーム運営共同体

利用料金：お子様1人、1回（3時間以内）につき、500円。一日最大2回の利用が可能。

その他詳細は <http://www.kyoto-terrsa.or.jp/pdf/hoiku-room.pdf> をご確認ください。

★7月3日（土）と7月4日（日）では、問い合わせ先と申し込み締切日が異なります。ご注意ください。

7月3日（土）分

申し込み締切日：7月1日（木）

問合せ先：京都テルサ 〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地

TEL 075-692-3420 FAX 075-692-3402 E-mail: info@kyoto-terrsa.or.jp

7月4日（日）分

申し込み締切日：6月4日（金）

問合せ先：永田智子（兵庫教育大学大学院 学校教育研究科）

TEL & FAX 0795-44-2184 E-mail: tnagata@hyogo-u.ac.jp

● 昼食について

当日、近隣地図でご案内します。京都テルサ及び周辺の飲食店をご利用ください。

会場内飲食場所も準備しております。会場には十分な飲料自販機が設置されています。

● 宿泊等について

観光地・京都には多くの宿泊場所があります。超繁忙時期ではありませんが、お早めに、スケジュールにあわせて、各々で確保していただけますようお願いいたします。

## ● 研究発表をされる方への連絡事項

### 【口頭研究発表】

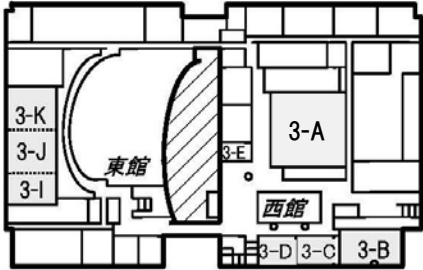
1. 口頭研究発表のための資料は、パワーポイントおよび印刷物とします。
2. パワーポイントをご使用になられる方へ
  - ①各発表会場に用意するパソコンは、Windows です。
  - ②パワーポイントのバージョンは2007 です。
  - ③ファイル名は半角で、会場名(A または B)・会場番号・ハイフン・発表番号の順に例えば A1-1 として下さい。
  - ④事前にウイルスチェックをすませたものをご用意いただき、以下のように、各自でパソコンにデータファイルをコピーしてください。
    - 1 日目発表：3 日(土) 9:00 - 9:30 (各発表会場において)
    - 2 日目発表：3 日(土) 11:50 - 12:35 (口頭発表 第 1 会場において)
    - 4 日(日) 9:00 - 9:30 (各発表会場において)
  - ⑤パワーポイントの操作は発表者がおこなって下さい。
3. 配付資料は、発表番号と氏名を明記し、必ず 100 部用意して、当日早めに発表会場の受付にご提示ください。  
パワーポイントを使用される場合でも、機器に不具合が生じた時のために、印刷物を 100 部ご用意ください。
4. 研究発表の時間は 15 分、質疑応答の時間は 5 分です。質疑のない場合は 20 分まで発表できます。この時間には、資料配付等も含んでいます。発表時間が厳守されないとスケジュールが乱れますから、是非ご協力お願いいたします。
5. 発表時間 13 分経過後に 1 鈴、15 分経過後に第 2 鈴、20 分経過後に第 3 鈴をもって終わりの合図とします。
6. 研究発表中止の場合は、できるだけ早めに、大会前の場合は学会事務局へ連絡してください。大会当日、会場では電話受付できませんので、大会に参加する方に連絡をとるなどして、大会実行委員会事務局にお知らせいただけるようお願いいたします。研究発表の中止があった場合でも、その後の研究発表時間の繰り上げはいたしません。

### 【ポスター研究発表】

1. ポスターは、1 発表につき、91.4cm×129.2cm (AO ノビ)まで掲示可能です。  
指定されたポスター番号場所に、演題目、所属、氏名、説明文、図、表、写真など、自由にレイアウトしてください。
2. ポスターの掲示は、3 日(土) 9:30 - 4 日(日) 13:40 です。  
掲示は 3 日(土) 9:30 までに行ってください。
3. ポスタープレゼンテーションの時間帯には、発表者は必ずポスターの傍らに待機してください。奇数番号ポスターは 3 日(土) 12:35 - 13:05、偶数番号ポスターは 4 日(日) 13:10 - 13:40 です。発表者はポスター撤収時まで受付でお渡しするリボンをおつけください。
4. ポスターを貼るピンは市販の押しピンです。実行委員会で貼り付け場所に準備します。
5. ポスターの撤収は、4 日(日) 13:40 以後すみやかに、各自で行ってください。

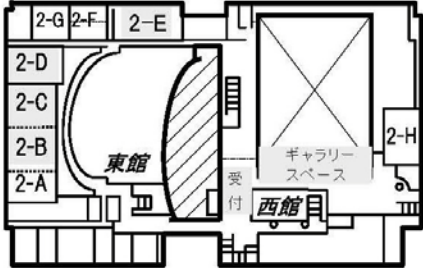
2010 日本家庭科教育学会 第53回大会 会場図 (京都テルサ)

- 3階(東館)  
 3-I.J.K.(大会議室)  
 ・口頭発表第一会場  
 ・総会(1日目)  
 ・シンポジウム(1日目)  
 ・課題研究報告(2日目)



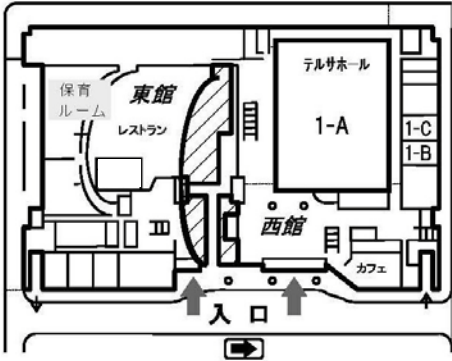
- 3階(西館)  
 3-A 展示・休憩室  
 3-B 実行委員控室  
 3-C 理事・来賓控室  
 3-D クローク

- 2階(東館)  
 2-B  
 □ 口頭発表第二会場  
 2-C  
 □ 口頭発表第三会場  
 (2日目のみ)  
 2-D  
 □ 口頭発表第四会場  
 2-E  
 □ 口頭発表第五会場



- 2階(西館)  
 ギャラリースペース  
 ・ポスター会場  
 受付場所

- 1階(東館)  
 保育ルーム  
 レストラン「朱雀」



- 1階(西館)  
 カフェ「heart garden」





## ● 交通アクセス

大会会場：京都テルサ (<http://www.kyoto-terrsa.or.jp/access.html>)

- J R 京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約 15 分
- 近鉄東寺駅より東へ徒歩約 5 分
- 地下鉄九条駅 4 番出口より西へ徒歩約 5 分
- 市バス九条車庫南へすぐ
- 名神京都南インターより国道 1 号北行き市内方面へ  
九条通を東へ、九条新町交差点を南へ

